

天声人語

今年の桜は、受難を強いられ
ている。飲んで騒いでの花見が
なくなり、ゆるりと歩いて眺め
てくれるかと思いきや、ところ
によっては、立ち入りすら禁止
されてしまった。きのうはきの

うで、関東などで季節外れの雪に見舞わ
れた▼近所の桜の木を見ると、降った雪
が花びらから垂れ下がり、小さなつらら
のようだった。桜の咲くころの冷え込み
を「花冷え」と言うが、「花凍え」とで
も呼びたくなる気候である。寒さに耐え
るかのような薄桃色は、それはそれで美
しいのだが▼すぐに消えてしまう春の雪
は、どこか淡い感じがする。しかし肌
に感じる冷たさは同じである。へこの道し
かない春の雪ふるゝ種田山頭火。一筋の
道を歩んでいく人に、思いがけない雪が
降りかかる▼新しく社会に出る人、学校
に入る人にとって春はいつも試練のとき
だ。しかし今年は特別だろう。感染防止
のため、入社式中止する企業が相次い
ている。新人研修も自宅のパソコンで受
けさせる会社があるという▼大学の入学
式も続々と取りやめになった。人と人が
交わることによって仕事生まれ、学問
が成り立つ。そんな基盤が危うくなって
いるのかもしれない。在宅勤務や遠隔授
業などでどこまで補い、質を高められる
か。この社会そのものが試練のなかにあ
る▼へもろもろの木に降る春の寒かな
原石鼎。これから伸びていこうとする若
い木があり、いまが働き盛りの年季の
入った木がある。誰もが不安を抱えな
がら、新しい年度をもうすぐ迎える。